



化学物質規制相談窓口

新規材料開発の規制対応における立ち止まりをなくし、「気軽に・すぐに・専門的に」相談できる環境をご提供いたします。

背景・設置目的

これまでの課題

- 個別調査会社への依頼：
調査依頼を調査会社にするほどの内容ではない、またはちょっとした研究段階なので聞き方が難しい
- 自己調査の限界：
自分で調査した結果が十分かどうか判断できない
- AIの限界：
AIに質問しても、規制原文の確認が必要で判断がつかない

窓口利用による効果

- 気軽な相談：
小さな疑問を気軽に相談できる環境を整備
- 悩みの解消：
一人で悩む必要がなく、相談できる体制を構築
- 開発スピード向上：
開発の立ち止まりがなくなり、スピード感があがる
- 後戻り防止：
開発後の手戻りコスト・時間のムダを防ぐ
- 競争力向上：
他社より優位に立つための環境整備

利用対象

- 化学物質や材料を開発・取扱い・製造している全部署が対象です。

サービス概要

サービスA: 規制確認(標準)

- 概要：
 - ・ 物質名・用途・展開先国がすべて明確な状態での規制該当確認
- 相談例: 「化学物質Aを欧州向けB用途に使用したい。規制対象か？」
- 提供内容：
 - ・ 指定物質の規制該当確認
 - ・ 規制化動向(候補物質リスト)確認
 - ・ 結果報告(書面またはメール)

サービスB: スポット規制確認(情報補完あり)

- 概要：
 - ・ 物質名は明確だが、用途・展開先国が未確定の段階での相談
- 相談例: 「化学物質Aを材料開発に使用したい。規制対象か？」
- 提供内容：
 - ・ ヒアリング(用途・展開先国の確認)
 - ・ 担当者確認・すり合わせ
 - ・ その後、サービスAとして実施・報告

導入のメリット

- 以下の5つのメリットがあります。まずはお気軽に以下の窓口へご相談ください。

➡化学物質規制相談窓口[CRIチーム]: cri-team@jfe-tec.co.jp

1. 小さな疑問を気軽に相談：一人で悩む時間・機会損失をなくし、気軽に相談できる環境を整備。開発の立ち止まりを防ぐ。
2. 調査依頼の手間を最小化：個別案件ごとの依頼の手間が不要になる。
3. 開発スピードUP：開発の立ち止まりがなくなり、スピード感が向上。他社より優位に立つ。
4. 後戻りコスト防止：開発後の後戻り(手戻りコスト・時間)を防ぎ、無駄なコストを削減。
5. AIでは難しい規制原文をカバー：AIによる調査では判断できない規制原文の正確な確認を専門的にカバー。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2026 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

